



20期（昭和44年3月卒業）

- 監督 渡辺 辰彦
(※監督に関しては、夏季岐阜県大会時を表記しております。)
- マネージャー ー
- 選手数 6人

氏名	出身中学
遠藤 裕造	長森
加賀 万比	那加
岸根 昌志	根尾

氏名	出身中学
硯見 章泰	小那見
松宮 掌一	長良
和田 俊幸	三輪

■第20回 秋季岐阜県高等学校野球大会

- 1回戦 ○ 長良 2 - 1 多治見工
- 準々決勝 ● 長良 2 - 4 大垣

■第15回 春季岐阜県高等学校野球大会

- 1回戦 △ 長良 0 - 0 大垣
- 1回戦(再試合) ● 長良 3 - 8 大垣

■第50回 全国高等学校野球選手権岐阜大会

- 1回戦 ○ 長良 8 - 2 大垣工
- 2回戦 ● 長良 3 - 7 岐阜南

■現役当時の様子や概況など

新チームになったこの学年は、総勢13名程度であった。恐ろしいことに、私の胸中には、この頃に甲子園出場の夢が芽生えていた。部員が少ないことは、それだけ一人一人の練習量が多いという長所を持っている。くる日もくる日も個人ノックが続けられた。センターを守っていた硯見君とは、けんか腰のノックが二時間ぐらい(実際は一時間ぐらいだろうが、その時はそう思えた)、真夏の太陽の下で行なわれた。そんな状況なので、岸根君が肩の故障で戦列を離れた時は言葉にならなかった。

夏の大会は、この年甲子園に出場した岐南高に2点を先制しながら逆転負けをするが、まだ日本に復帰してなかった沖縄への岐阜県代表チームに、加賀君・松宮君を送り出したことは、全チームメートの誇りであった。

(平成2年「監督の思い出」より)